

皆様のお声

記入日 平成 26年 11月 26 日

イニシャル	S、K、	年齢	72キ	性別	男・女
-------	------	----	-----	----	-----

来院時の症状	平成19年両膝痛を発症し、MRI検査をとり、内視鏡の手術を受けるが、再発し、激痛を伴う。自立歩行が、できない状態で来院しました。
--------	--

【ご意見・ご感想をご自由にお書き下さい】

平成20年6月24日、全膝手術を受け、自覚痛と共に腫れも減る。少しづつ、全膝痛を治癒させた結果、順次軽快している。今では、自分の足で遠方まで歩けるようになり、また、並列して、スポーツクラブでトレーナーの指導を受け、体重も75kg以上減り、食事にもきをつけ、定期検診もすべて健康状態を保ち、日常生活も快適に生活できている。

私の体験で、テレビのチャンネルが、医学の番組が、多いものでした。現在、私は72キになりました。戦前、生まれです。今はネットを使わずには、すくなく、世の中になりました。私には、ITが、使えません。テレビを見て、ビデオに取って、おろすのに、時間が、かかりました。現在、国内患者数1200万人、潜在患者8000万人、膝の病気の患者いるが、医学が進んで、手術で治す方法もあります。病名、変形性膝関節症、今や、大学病院で手術は、出ます。80才より、若い患者の場合、病院でも、町医者でも、手術を受けたいとは、いいません。それは、高額な費用がかかるからです。そこで、テレビ見て、東洋医学で、治す方法を見ました。ところが、穴本本にある事を知ったのです。私の家から、1時間ぐらい、かかりました。そこで、友人に、聞いたところ、私のそばに、鍼灸の所があるよと、つれて行って、下しました。その友人が、院長と話しをして、下して、受けて、下しました。昭和時代は、目の不自由の方の職業でした。今や、東洋医学を、若い先生が、誕生しています。私の選択は、まちがって、いなかった。私の関節には、メスが入っていない。

- ◎ 留意してほしい事。有名な大学病院でも、大学病院で、得意としている科、たとえば、膝のように、変形性膝関節症の専門の大学病院を選択し、鍼灸も、選ぶ場合、人によって、受ける、悪い場合、行かない方が、良い鍼灸を選ぶ場合、無い。鍼灸に行っても、治さないと、出ない場合が多い。調べれば、(後院) ですか、

片膝手術して、約80万円ほど。

【皆様のお声としてホームページに掲載してもよろしいでしょうか】

- 1 はい
- 2 いいえ

ご協力ありがとうございました。